

品質が優れ、多収良食味の水稻奨励品種「あきのそら」を育成

背景

- 普通期栽培晩生品種は水稻経営の作期分散として重要
- 「夢はやと」は品質、「はなさつま」は収量がやや劣る

目的

- 普通期栽培晩生品種の育種目標
多収で倒伏に強く、高品質の良食味水稻品種の開発

研究内容

- 平成13年度 交配，世代促進(冬)
- 平成15年度 個体選抜
- 平成16年度 系統選抜
- 平成21年度 奨励品種決定調査
- 平成24年度 現地試験に供試
- 平成27年度 品種登録出願

成果の内容・特徴

- 「夢はやと」より出穂期で2日，成熟期で3日遅い普通期栽培用“晩生”
- 「夢はやと」より稈長は短く，収量性は同程度の多収，耐倒伏性は強
- 玄米外観品質は，「夢はやと」より優れる
- 「ヒノヒカリ」並の良食味品種

園芸作物部



左:あきのそら, 右:夢はやと

今後の展開

- 平成28年度:農家向け種子の生産を開始
- 平成29年度,普通期水稻地帯の普及を図る(目標200ha)